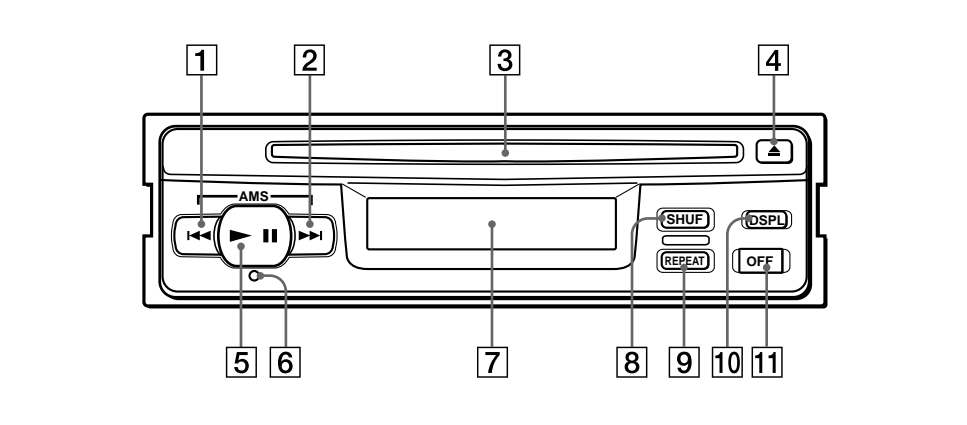


主な特長

- すべてのFMチューナー付きカーオーディオに接続が可能。
- CDの交換が簡単に行えるインダッシュ取り付け。
- CDをクリアに演奏できる8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター。
- アダプターなしで8cmCDの演奏が可能。
- 強い振動で音とびが起っても、すぐに同じところから演奏を続けるクイックリカバリー機構。
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート演奏機能。
- CD内の曲を順不同に演奏するシャッフル演奏機能。

各部のなまえ



- AMS (頭出し) ボタン
- AMS (頭出し) ボタン
- ディスク挿入口
- (CD 取り出し) ボタン
- (CD 再生 / 一時停止) ボタン
- リセットボタン
- 表示窓
- SHUF (シャッフル演奏) ボタン
- REPEAT (リピート演奏) ボタン
- DSPL (表示切換) ボタン
- OFF ボタン

操作

初めて使うときや接続を変えたときは、リセットボタンをつまようじの先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

- ご注意**
- リセットボタンを押してから10秒間はCDを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。

CDを聞く

- 1**
- FMチューナー付きカーオーディオのFMチューナーを本機で設定した周波数にあわせる。初期値は88.3MHzです。

- 2**
- CDを入れる。ディスクが引き込まれ、最初の曲から演奏が始まります。8cmCDの場合はアダプターを付けずに挿入してください。



- 3**
- FMチューナー付きカーオーディオで音量を調節する。すでにディスクが入っているときは▶▶ボタンを押すと再生が始まります。

- ご注意**
- すでにディスクが入っているときに、別のディスクをディスク挿入口に入れないでください。故障の原因になります。
 - レーベル面を下にしてディスクを差し込むと、傷つくことがあります。

演奏を止める

OFFボタンを押す。

- ご注意**
- FMラジオ放送を聞く場合は、必ずOFFボタンを押して本機の電源を切ってください。
 - CDの再生を止めるとスピーカーからザーという雑音があります。FMチューナー付きカーオーディオの音量を下げてから再生を止めるようにしてください。

ディスクを取り出す

▲ボタンを押す。

この時、出てきたディスクをそのままディスク挿入口に放置しておくと、ディスク保護のため約15秒後に自動的に本機内に引き込まれます。

曲の頭出しをする

AMS◀◀ボタンまたはAMS▶▶ボタンを短く押す。

AMS◀◀ボタンを押すと前の曲、AMS▶▶ボタンを押すと次の曲の頭出しをします。飛ばしたい曲の数だけ押します。

聞きたいところを探す

AMS◀◀ボタンまたはAMS▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで離す。

AMS◀◀ボタンを押すと前に戻り、AMS▶▶ボタンを押すと先に進みます。ディスクの先頭または終わりに来ると「LL LL」または「TT TT」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

繰り返し聞く

再生中にREPEATボタンを押して、「REP」を表示する。

演奏中の曲を繰り返し再生します。再度REPEATボタンを押して表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。

曲順を変えて聞く

再生中にSHUFボタンを押して、「SHUF」を表示する。

ディスク内のすべての曲を順不同に再生します。再度SHUFボタンを押して表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。

表示を切り換える

DSPLボタンを押す。

DSPLボタンを押すたびに、再生経過時間とトラック(曲番号)を交互に表示します。

ご注意

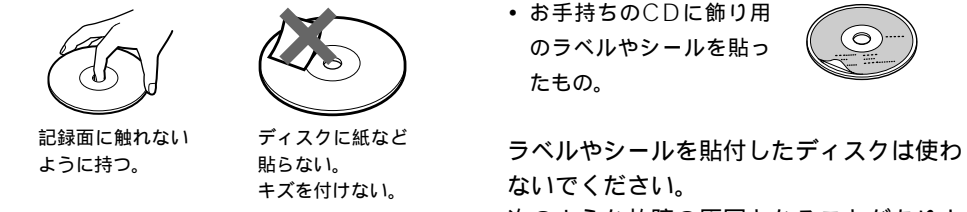
本機の取り扱い

本体表面を傷めないために

本体表面に、殺虫剤やヘアスプレーをかけた
り、防虫剤などの薬品やムム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

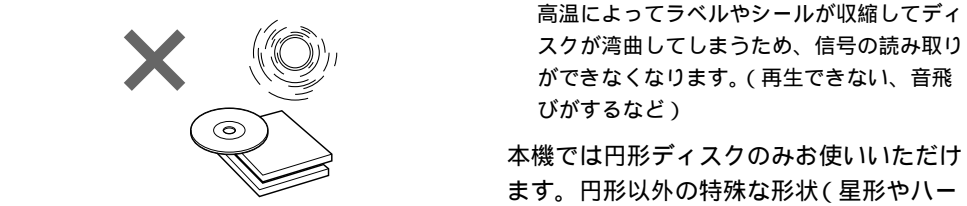
CDの取り扱い

コンパクトディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつもでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



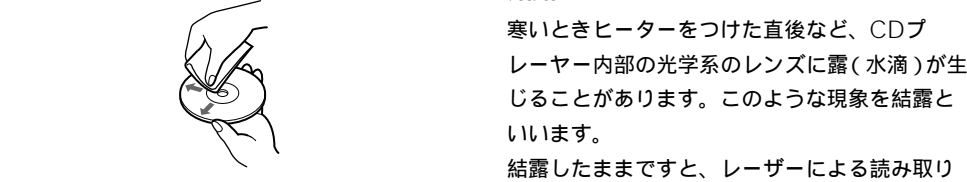
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。

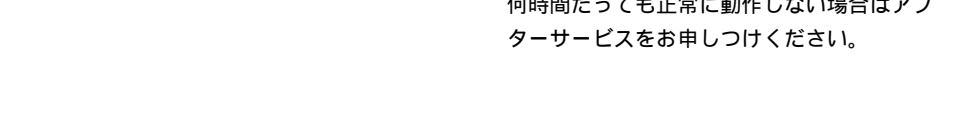


お手入れ

再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを市販のクリーニングクロスで失印の方向へふき取ってください。



ベンジン、アナログ式レコード鑑用のクリーナーは使用しないでください。周囲の状況にもありますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合はアフターサービスをお申しつけください。



故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してみてください。下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。テクニカルインフォメーションセンターやお買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
CDが入らない。 <div>CDを入れてもすぐに出てくる。</div>	<ul style="list-style-type: none">すでに別のCDが入っている。 CDを誤った向きに入れようとしている。<div>→ レーベル面を上に入れてください。</div>
音がとぶ。 <div>音が途切れる。</div> <div>音が割れる。</div>	<ul style="list-style-type: none">ディスクがひどく汚れている。<div>→ ディスクをクリーニングしてください。</div> ディスクが傷ついている。<div>→ 他のディスクを再生してください。</div> 本機の取り付け角度が+60°をこえている。
CDが出てこない。	<ul style="list-style-type: none">▲ボタンを2秒以上押してください。
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">接続コネクタが確実に挿入されていない。<div>→ 接続を確認してください。</div>

エラー表示について
CDプレーヤーが誤動作すると、エラー表示がしばらく点滅します。

エラー表示	原因	処置
<i>E-04</i>	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
<i>E-99</i>	何らかの原因でCDが動作しない。	リセットボタンまたは▲ボタンを押す。

主な仕様

CDプレーヤー部		付属品	取り付け/接続部品（一式）
ワウフラッター	測定限界以下		取扱説明書
SN比	90dB		ソニーご相談窓口のご案内（1）
周波数特性	10 - 20,000Hz		保証書（1）
電源部、その他		別売りアクセサリ	RCAピンコード
消費電流	2A（ディスクローディング時）		RC-63（1m）、RC-64（2m）、RC-65（5m）
出力端子	アナログオーディオ出力端子（RCAピン）		ロータリーコマンダー RM-X4S
本体寸法	約178×50×173mm（幅/高さ/奥行き）		日産ダイバーシシステム 変換コード XA-82
取付寸法	約178×50×159mm（幅/高さ/奥行き）		欧州車用アンテナ変換コード RC-50、RC-185
質量	約1.1kg		アメリカ車用アンテナ変換コード RC-150GM、RC-160GM

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

警告 安全のために

警告

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。
道路交通法に従って安全運転する

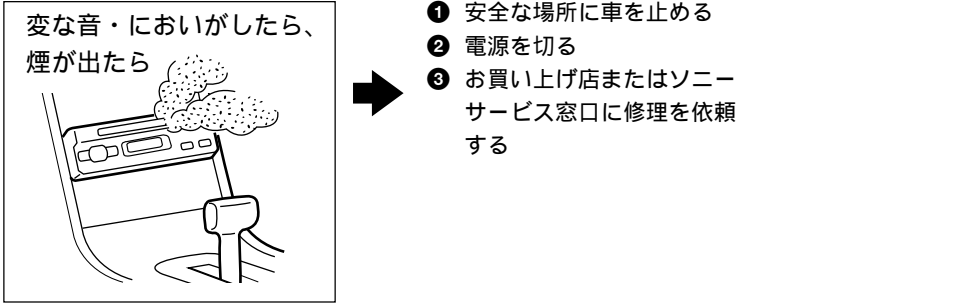
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。
故障したら使わない

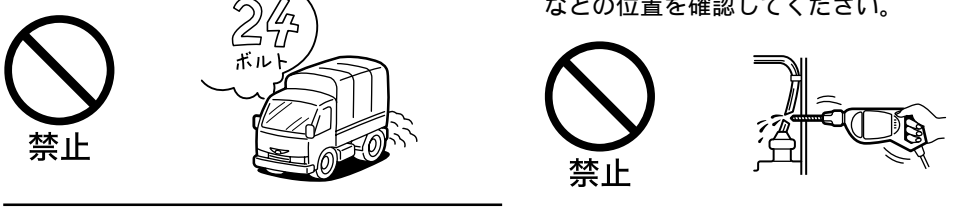
動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



警告	火災	感電	下記の注意を守らないと 火災・感電 により 死亡や大けが の原因となります。
----	----	----	--

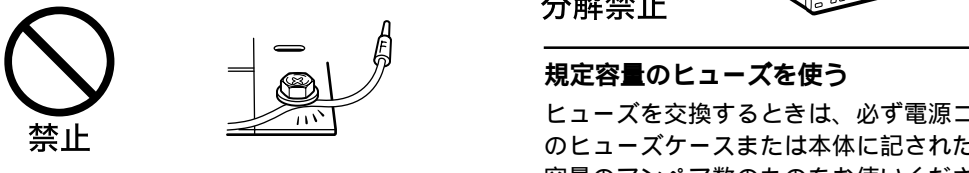
本機はDC12Vマイナース車専用です
本機に付属の電源コードを、大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

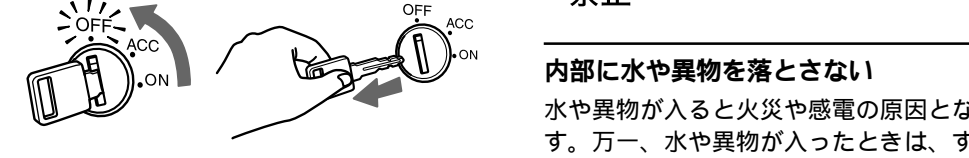
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするが、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにする車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

注意	下記の注意を守らないと けが をしたり 自動車に損害 を与えたりすることがあります。
----	--

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかりと固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



SONY

コンパクトディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
警告
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。
注意を促す記号
火災 感電
行為を禁止する記号
禁止 分解禁止



CDX-1000RF

Sony Corporation © 2000 Printed in Korea

取り付け部品の確認（付属品）
<div> <div>① ③K5×8</div> <div>② ③T5×8</div> <div>③ 日産専用プレート</div> <div>④ ③K5×8</div> <div>④ ③T5×8</div> <div>④ 電源コード</div> <div>⑤ 圧着式コネクタ</div> </div>

この「取扱説明書」に記載されている取り付け、接続先の機器は全て別売品です。ただし、付属品は除きます。

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内（FAX付電話でご利用になれます）	<div>24時間お手元のFAXで資料が取り出せます</div>
カーフィッティングFAXサービス 車輦メーカー、車種・車輦形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料 ①インデックスの手入 / 03-3552-7209 車輦メーカー別のBOX番号を受信 ②資料請求 / 03-3552-7488 アナウンスに従いご希望の車輦の該当BOX番号を入力してください	
・ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみ お客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。 ・FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8：00～午後11：00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。（第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。）	

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35 お問い合わせはお客先ご相談センターへ ●ナビダイヤル……0570-00-3311 （全国どこからでも市内通話料無料でご利用いただけます） ●携帯電話・PHSでのご利用……03-5448-3311 ●Fax……………0466-31-2595 受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00	ご案内 ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的な疑問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。 テクニカルインフォメーションセンター 電話：048-794-5194 受付時間：月～金 9:00～18:00 （祝日、年末年始、弊社休日を除く） ご相談になるときは次のことをお知らせください。 ・型式 ・故障状態：できるだけ詳しく ・お買い上げ年月日 http://www.sony.co.jp/
--	--

保証書とアフターサービス

保証書 <ul style="list-style-type: none">この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。	部品の保有期間について <p>当社ではカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。</p>
--	---

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンターやお買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

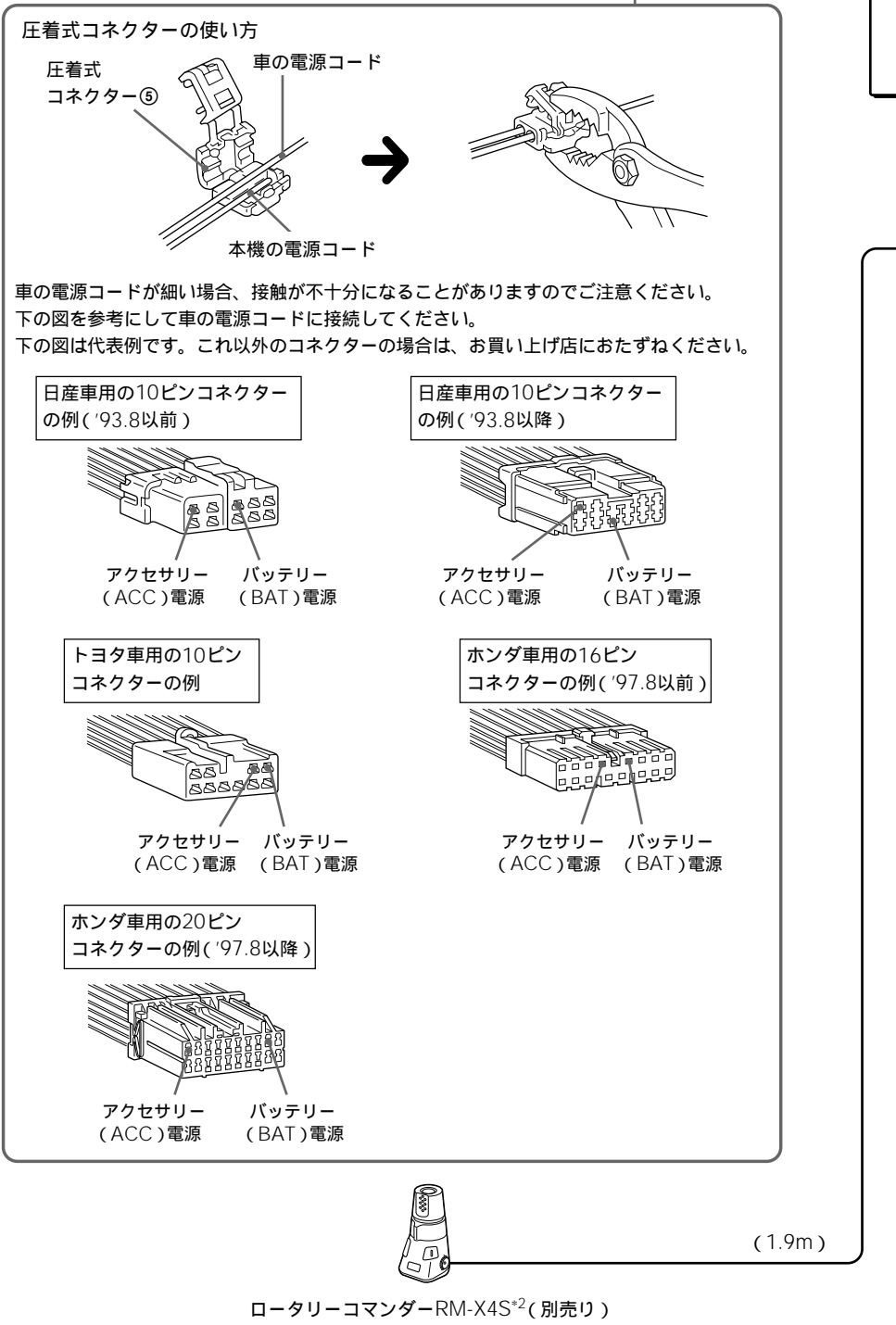
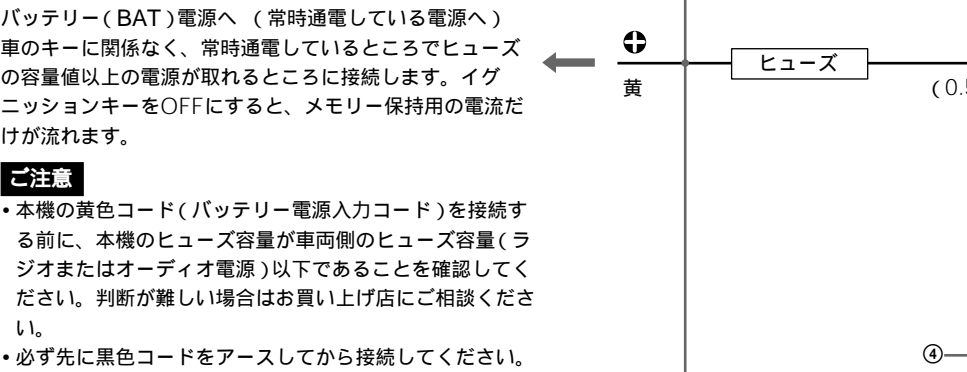
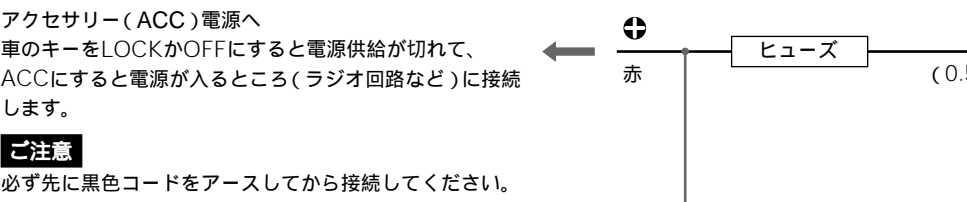
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

1 接続

必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。
(別売りの仕様についてはカタログをご覧ください。)

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。



² ロータリーコマンダーRM-X4Sを使用すると、本機の以下の機能が操作できます。
()内はロータリーコマンダーでの操作方法です。

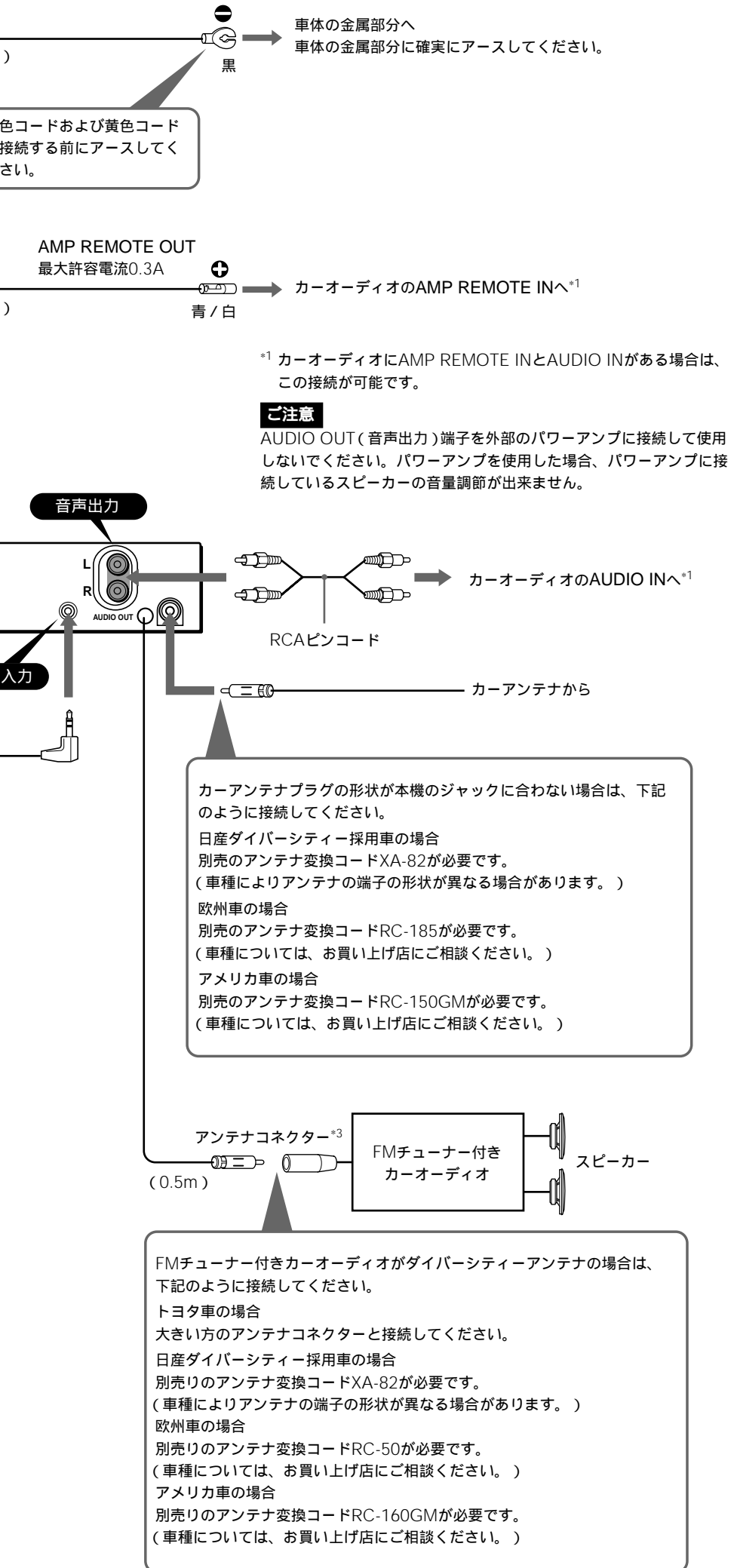
- ・電源を入れる（SOURCEボタンを押す）
- ・電源を切る（OFFボタンを押す）
- ・曲の頭出しをする（SEEK/AMSつまみを短く回して離す）
- ・聞きたいところを探す（SEEK/AMSつまみを回し続ける）
- ・音量（出力レベル）を調整する（VOLつまみを回す）

接続関係のご注意

ヒューズについて

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

下記の「接続関係のご注意」も合わせてご覧ください。



2 取り付け

取り付け場所

- こんな取り付け場所はお避けください。
- ・運転の妨けになる所
 - ・同乗者の安全を損なう所
 - ・グローボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨けになる所
 - ・ほこりの多い所
 - ・磁気を帯びた所
 - ・直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
 - ・雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

取り付け角度

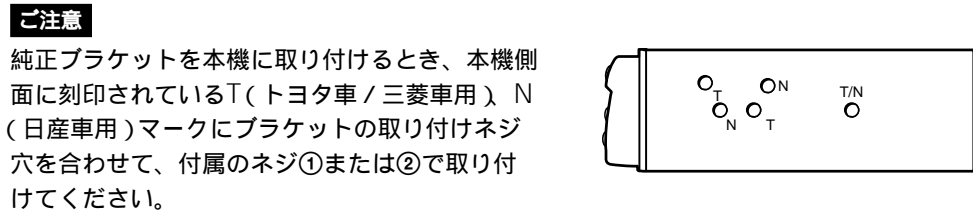
水平から+60度以内で取り付けてください。

ビス・ナット類

- ・必ず付属のビス類をお使いください。
- ・ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようご注意ください。
- ・車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- ・外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- ・外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。

センターコンソールやインダッシュに取り付ける

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどはFMチューナー付きカーオーディオなどと共に本機を取り付けられます。
取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。
お車上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

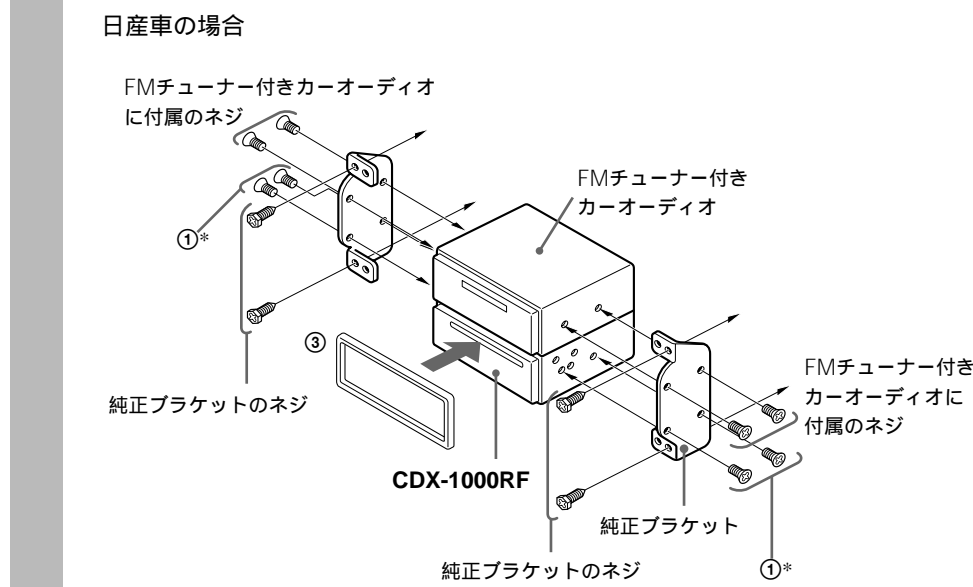
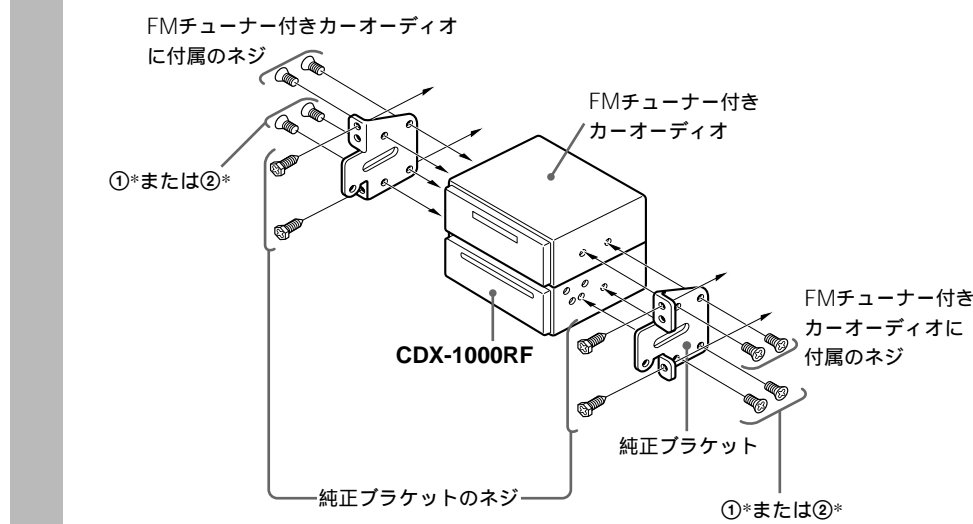


- 1 FMチューナー付きカーオーディオを取り外す。
ちょっと一言
FMチューナー付きカーオーディオの取り外しかたがわからない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

- 2 本機とFMチューナー付きカーオーディオを取り付ける。
接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

- ご注意**
・取り付けの際は、必ず付属のネジをお使いください。また、車両側の純正ブラケットを過ぎずに本体に直接ネジを締め付けると、故障の原因になります。
・本機のフロントパネル部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
・本機およびFMチューナー付きカーオーディオの上部に物をさきままないでください。

トヨタ車／三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)
①と②のネジは取り付け車両により使い分けてご使用ください。
三菱車に本機を取り付ける場合は②のネジをご使用ください。

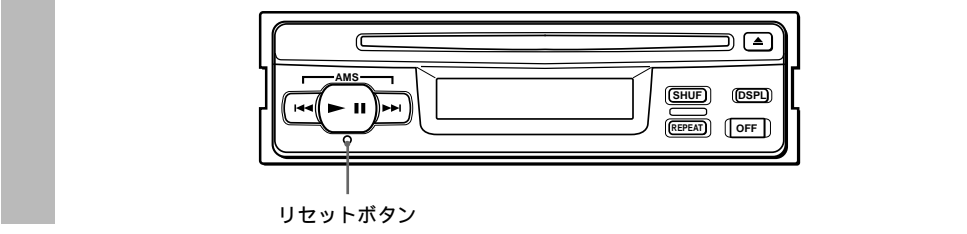


* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

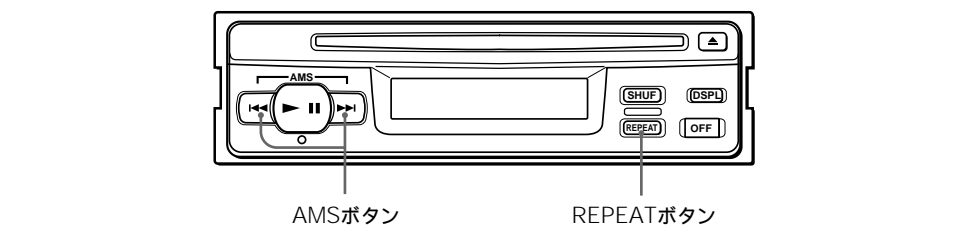
3 取り付けと接続が終わったら

- 1 プレーランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する。

- 2 リセットボタンをつまようじの先などで押す。
- ご注意**
・電源へ接続直後、およびリセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れると故障の原因になります。もし入れた場合はリセットし直してください。
・針のようなもので強く押すと故障の原因となります。



4 設定する



送信周波数を設定する

本機ではCDをFMチューナー付きカーオーディオのFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があるとCD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機からFMチューナー付きカーオーディオへ送る周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。

- 1 REPEATボタンを2秒以上周波数が表示されるまで押す。

- 2 AMSボタンを押して、周波数を選ぶ。
▶▶を押すたびに周波数は次のように切り換わります。
88.3MHz → 88.5MHz → 88.7MHz → 88.9MHz → 89.1MHz → 89.3MHz → 89.5MHz → 89.7MHz → 89.9MHz → 88.3MHz
◀◀を押すと逆順に表示されます。

- 3 最後にREPEATボタンを2秒以上押す。

- ご注意**
本機の周波数を変えたときは、必ずFMチューナー付きカーオーディオに登録（プリセット）する周波数も変えてください。

出力レベルを設定する

FMチューナー付きカーオーディオの入力レベルに合わせて本機の出力レベルを設定できます。ふつうは初期値で使用しますが、必要に応じて切り換えてください。

- 1 REPEATボタンを2秒以上押す。

- 2 つづけてREPEATボタンを短く押す。

- 3 AMSボタンを押して、出力レベルを選ぶ。
◀◀を押すとレベルが低くなります。
▶▶を押すとレベルが高くなります。

- 4 最後にREPEATボタンを2秒以上押す。